

南東京 特集

我が社の取り組み 持続可能な社会を目指して

持続可能な社会の実現に向け、国連の持続可能な開発目標(SDGs)の達成に意欲的に取り組む企業が増えている。環境問題や社会課題が企業活動に直接的に影響を及ぼす時代になったためだ。企業はこれら課題に真摯(しんしん)に取り組むことで中長期的な企業価値の向上や持続的成長の実現にもつなげる。

ヘッドスプリング 「グローバルサウス支援事業」に採択

電力供給モデル 積極的に構築



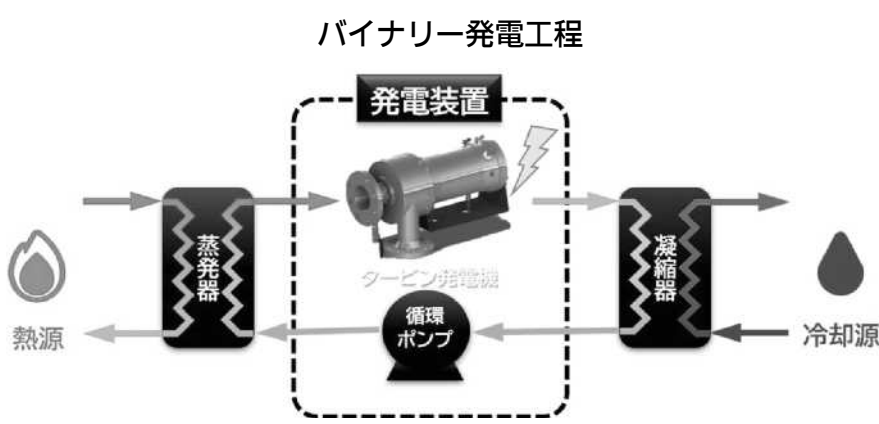
高速制御のコア技術を採用したシステムについて語る星野社長

「システムについて語る星野社長」

ヘッドスプリング(東京都品川区、星野脩社長)は、パワーエレクトロニクス製品の開発・製造・販売事業を手がける。「すべての人が、電力の恩恵を享受できる社会の実現」を使命とし、「エネルギーの地産地消」を掲げ、電力インフラが十分に整っていない地域に向けたエネルギー技術の開発にも力を注ぐ。同社の強みは炭化ケイ素(SiC)や窒化ガリウム(GaN)といった次世代パワー半導体を活用した高効率な電力変換技術にある。同技術を活用し、再生可能エネルギーと蓄電池を組み合わせた「自立型エネルギー貯蔵システム」を開発。電力系統に依存せずに高出力の供給を実現した。

巴工業 バイナリー発電装置100キロワット級開発中

効率的な熱利用提案 全方位でコーディネート



巴工業は遠心分離機を製造・販売する機械事業と化学工業製品を輸入販売する化学工業事業を手がける。遠心分離機のシェアは国内トップ規模で、デカンタ型遠心分離機のバイオニア企業でもある。多岐にわたる製品群を持つ巴工業が現在力を入れているのが、バイナリー発電装置だ。バイナリー発電装置は焼却炉排熱、産業排熱、バイオマスを、効率的な熱利用を提案できるのが同社の強みであり、その営業活動も強化している。発電装置を売り込むだけでなく、工場や製造現場を分析し、いかに熱利用が可能なかを提案する。チタン製や樹脂製の熱交換器などのほか、農業や養殖といった別の領域での熱の利用を勧めるなど、コンサルタントのような活動も展開している。「すべてをコーディネートする。全方位で熱利用全般に関わって」とバイナリー営業部の岸上隆行部長は意気込む。

日東工器 切削液回収ユニット「HK-400A」

24時間駆動でエア配管不要 現場作業を効率化



切削液回収ユニットを紹介する高橋執行役員

日東工器は迅速流体継手「カプ」や機械工具などの製造・販売を手がける。カプは空気や液体などの配管を素早く接続・分離できる機器で、これまでに2万5000種類以上を開発し、国内トップシェアを有する。2026年に70周年を迎える同社は創業以来、省力・省人化をテーマに時代のニーズに応える製品を投入してきた。切削液回収ユニット「HK-400A」も現場作業の効率化に貢献する製品の一つだ。油性切削液にも対応し、工作機械から切粉とともに排出された切削液を自動回収する。マグネットで機械に簡単に設置できる。「24時間駆動でエア配管も不要。プロセスボンブやエジェクターからの切り替えて省エネにつながる。切粉の吸引を防止するストレーナーも同梱。ウエスやスリッパを使った回収作業を省力・省人化し、オイルパンや切粉台車に貯まった油を効率よく回収できる。高橋政樹執行役員は「メンテナンスも容易で、補用品も充実している」とし、部品交換によって長く使えることも強調する。エアコンプレッサーは工場での使用電力の約20%を占めるとも言われ、高橋執行役員は「その使用量を減らせれば二酸化炭素(CO2)排出量の削減効果は大きい」と説く。

大崎電気工業 スマートメーター「らくらく検針」

多様な計測ニーズに対応、省人化・脱炭素化に貢献



「らくらく検針」システムで使われるスマートメーター

大崎電気工業は電力会社向けスマートメーター(通信機能付き電力量計)の国内トップメーカーだ。高い品質と信頼性が求められる生産現場の中で培われた技術力を生かし、さまざまな社会課題を解決する製品・サービスを電力会社以外の顧客にも提案・提供する事業を拡大している。使用電力量を遠隔で自動検針する「らくらく検針」は、人や環境に配慮したサービスとして展開中だ。検針業務では料金請求のためにスマートメーターの数値を確認し記録する。検針担当者が実際に施設を訪れ、目視で使用量を確認している場合もある。同サービスは商業施設などで管理主体が導入すれば、検針担当者はクラウド上でメーターごとの使用量や料金を一括で確認・集計できる。検針業務の省人化や従事者の負担軽減につながるほか、現地訪問の削減により、車両移動に伴う温室効果ガス排出量の削減にも貢献する。脱炭素化を背景に、太陽光発電設備や蓄電池向けの需要も高まっている。今後について、GXソリューション部の鈴木達也部長は「多様な計測ニーズに対応し、省人化や脱炭素化などの社会課題の解決に貢献しながら、持続可能な成長の実現を図りたい」としている。

池上通信機 サステナビリティ推進グループを新設

働く人の多様化や環境に対応した製品開発



池上通信機は放送、セキュリティ、医療、検査向けに映像関連製品・システムを手がける。4月にサステナビリティ推進グループを新設した。働く人の多様化や環境に対応した製品開発、社員が健康に長く働ける環境づくりにさらに力を入れる。女性カメラマンも増える中、多様な働き手のニーズに応えるため、同社は放送業界に酸化炭素(CO2)削減や製品の省電力化を進める。社員の心身の健康促進にも力を入れる。25年3月、経済産業省から健康経営優良法人の認定を受けた。24年度の育児休暇の取得率は100%。対象者に積極的な利用を促したことが功を奏した。サステナビリティ推進グループの蔵澄明子課長は「以前は総務と兼務だったが、専門組織となり他部署と連携しやすくなった。今後は包括的に進めたい」と意気込む。

加藤製作所 ハイブリッド式ラフテレーンクレーン

建設現場の環境負荷軽減、脱炭素化に貢献

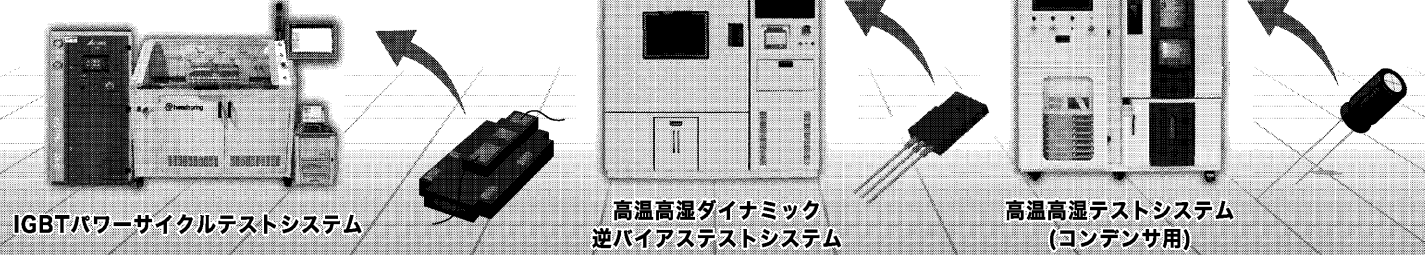


SRI-250HV-EK-UNIT

加藤製作所は建設用クレーンや油圧ショベルなどの建設機械・特装車を手がける。クレーン車のシェアは国内トップクラスを誇るほか、建設現場のさまざまなニーズに対応した製品をグローバル展開している。建設現場の環境負荷軽減や脱炭素化に貢献するため開発したのが、世界初のハイブリッド式ラフテレーンクレーンだ。ディーゼルエンジンと電動モーターを組み合わせたシステムを搭載。従来機種に比べて跳ね上がるほか、公道を安全に走る上でも不安が拭えない」と前田英智執行役員は明かす。同社の経営理念「優秀な製品による社会への貢献」にある通り、環境対策はもちろん重要だが、「使っても回らなければ社会に貢献できない。これからユーザーに選ばれるモノを提供していく」(前田執行役員)方針だ。

ヘッドスプリングの半導体評価装置HATシリーズ

- 従来比 25% のコスト削減!
- 評価受託サービスも承ります



車載向け パワー半導体の評価 をより 低コスト・短納期 で実現
電子デバイスの信頼性評価装置に新たなコストメリットをご提供

カタログ請求 / デモ受付中 / 展示会での実機体験も可能
問い合わせはコチラ ▶ info@headspring.co.jp
東京都品川区東品川2丁目5番5号 ハーバーワンビル3F
<https://headspring.co.jp>

巴工業は、二つのコアビジネスで
多様なニーズにお応えします

～日本における遠心分離機メーカーの
パイオニアとして～
進化を続ける技術力で、豊かな暮らし・自然との共生を演出します。

～グローバルネットワークを強みとする
化学工業製品の専門商社として～
高機能、高付加価値でニッチな商品を提供します。

巴工業株式会社
〒141-0001 東京都品川区北品川5-5-15 大崎プライトコア
TEL: 03-3442-5120 <https://www.tomo-e.co.jp>

南東京
特集

地域金融のSDGs

環境・社会課題解決に貢献

中小企業や地域社会と密接に関わり、その持続的発展を支えている地域金融機関。国連の持続可能な開発目標（SDGs）に取り組むことで、環境や社会課題の解決に貢献し、取引先や地域社会からの信頼を強めている。その取り組みを顧客基盤の維持・拡大や新たなビジネス機会の創出、地域経済の活性化にもつなげていく。

横浜銀行

神奈川県真鶴町などと4者連携協定

自然再生の行動・啓発 積極化

生物多様性保全に関する連携協定 調印式
真鶴町×横浜国立大学×ディスカバーブルー×横浜銀行

6月27日に真鶴町民センターで行われた4者による連携協定の調印式

横浜銀行は神奈川県真鶴町、横浜国立大学、NPO法人ディスカバーブルーの4者で、生物多様性保全に関する連携協定を締結した。金融機関が持つ資源を有効活用し、相互に連携・協力することで生物多様性保全に貢献する。横浜銀行はこれまで、行員やその家族向けのワークショップを開催したほか、3月にディスカバーブルーが主催した真鶴町が共催した海についての学びを深めるイベント「海のミューシウム」にも協賛してきた。これまで3者の連携に横浜銀行が加わることで、海と関わりのある人々に限らず、より幅広い社会全体へのアプローチが可能となる。今後は海のミューシウムを年間15回程度開催するほか、横浜国立大学臨海環境センターや海洋調査船を活用した海洋教育プログラムも実施する予定。研究者や漁業者らによるシンポジウムや、研究者と市民が対話できる場である「サイエンスカフェ」の開催も継続し、さらに発展させる方針だ。

同行地域戦略統括部の梅垣倫子アシスタントリーダーは「地域金融機関としてネイチャーボジティブ（自然再生）に向けた地域社会の行動変容に貢献すべく、生物多様性保全に関する啓発活動に取り組んでいる」とした上で、「豊富な資源と専門的な知見を有する3者と連携して取り組めることは大変心強い。今後、全国にも同様の取り組みが広がれば」としている。

さわやか信用金庫

大田区と包括連携協定 取り組み強化

創立100周年へ未来への挑戦

さわやか信用金庫（東京都大田区、篠原友理子理事長）は2024年3月に大田区と包括連携協定を結んだ。本部と16支店・2出張所を置く同区との連携により、幅広い分野で連携を強化し、区の持続的な発展につなげる考えだ。

連携施策の一つは、SDGsの推進を掲げている。同区がSDGsの達成に向けて優れた取り組みを提案する都市として、内閣府から23年度「SDGs未来都市」に認定された。昨年12月に認定された「SDGsおたスカイパートナー認定証」を持つ伊藤執行役員は「SDGs未来都市」に認定されたことあり、同信金は21年に「SDGs宣言」を公表。地域社会の一員としてSDGsの達成に向けた取り組みを通じて持続可能な社会の実現に努めている。連携協定を結んだこともあり、SDGsの達成に向けて取り組む区内事業者向けに区が独自に制度化した「SDGsおたスカイパートナー制度」に応募。審査を経て第1期に認定を受けた。1月から3年間の認定期間が始まった。同信金は26年度に創立100周年を迎えることから、同年度を最終年度として策定した「3カ年計画」のテーマを「100周年、未来への挑戦」としている。伊藤浩康執行役員コンサルティングセンター長は「次の100年に向けて、SDGsへの取り組みや大田区との包括連携を通じて、顧客との関係性を強化してきたように、よりいっそう『経験価値』を高めていきたい」と意気込みを見せる。

東日本銀行

顧客のサステナビリティ経営支援

シニア人材 積極的に活用

東日本銀行は親会社のコンコルディア・フィナンシャルグループ（F&G）が掲げるサステナビリティ（持続可能）の取り組みの一環として、SDGs表現への取り組みやサステナビリティ経営に向けた支援を積極展開中だ。優良取引先にビル建設設備用バルブなどを製造する大和バルブ（東京都品川区）がある。40年を取り引きがある東日本銀行の支援の下、2022年9月に「SDGs推進宣言書」を作成した。特に力を注いでいるのが、目標8の「働きがい

も経済成長も」などに該当する「シニア人材の活用」だ。大和バルブの大石秀晴副社長は「企業文化」と言い切るほど、シニア人材が社に根付いている。高齢者が生き生きと暮らせるように、定年後も希望者は全員再雇用し、働ける環境がごく当たり前に用意されている。60歳以上のシニア人材は全従業員約130人のうち10%程度を占める。70歳を超える人材もいれば、60歳を超えてから転職して入社する人材もいる。いずれも営業ノウハウや熟練技能を最大限に考慮して金銭的処遇を決める。大石副社長は「人材不足の中で、経験豊富な人材をどう残し活用するのかが経営戦略上、非常に重要だ」と強調する。

東日本銀行は今後もSDGs表現への取り組みやサステナビリティ経営などで顧客を支援し、持続的な企業価値を高めるとともに、優良な既存顧客の満足度の向上や潜在顧客の獲得に力を注ぐ。

商工中金 大森支店

中小企業の戦略的な取り組み支援

インパクト融資先数伸長へ

中小企業を取り巻く外部環境が大きく変化中。持続可能な社会の実現や中長期的な価値の向上に向けて中小の戦略的な対応が期待されている。こうした社会的要請に、インパクト・ファイナンス（PIF）だ。PIFは企業の「社会的価値」「経済的価値」「環境・社会・経済に対する与えるインパクト」の3つを総合的に高めていくことを目的とした伴走支援型の融資。企業活動が環境・社会・経済に対して与えるインパクトの持続可能な開発目標（SDGs）への貢献などを包括的に評価し、KPI（重要業績評価指標）を設定。定期的にモニタリングする。商工中金が2022年度にPIFの取り扱いを始めて以降、大森支店では7月末時点で9先49億円の融資を実施した。25年度もすでに2先に融資した。それ以外の取引先とも対話を進めており、融資先数は伸長しそうだ。PIFを活用した取引先からは、サステナビリティ経営を継続する上で取り組むべき事項が明確になった点や社員の意識醸成につながった点が利点として上がっている。大森支店の鈴木幸次支店長は「中小企業の課題解決と成長支援に合うソリューションカンパニーの実現に向けて、ソリューション提供力を強化し、SDGsなどに対する中小企業の取り組み支援を通じて、中小企業の企業価値向上に全力で取り組んでいきたい」としている。

サステナブルな社会の実現を目指して、

130th Anniversary Since 1895

挑戦を続けてまいります

KATO 株式会社 加藤製作所

「技術」のチカラで、あなたをしあわせに。

Ikegami

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

池上通信機株式会社は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

Broadcast 放送

Medical メディカル

Inspection 検査 / 画像処理

Security セキュリティ

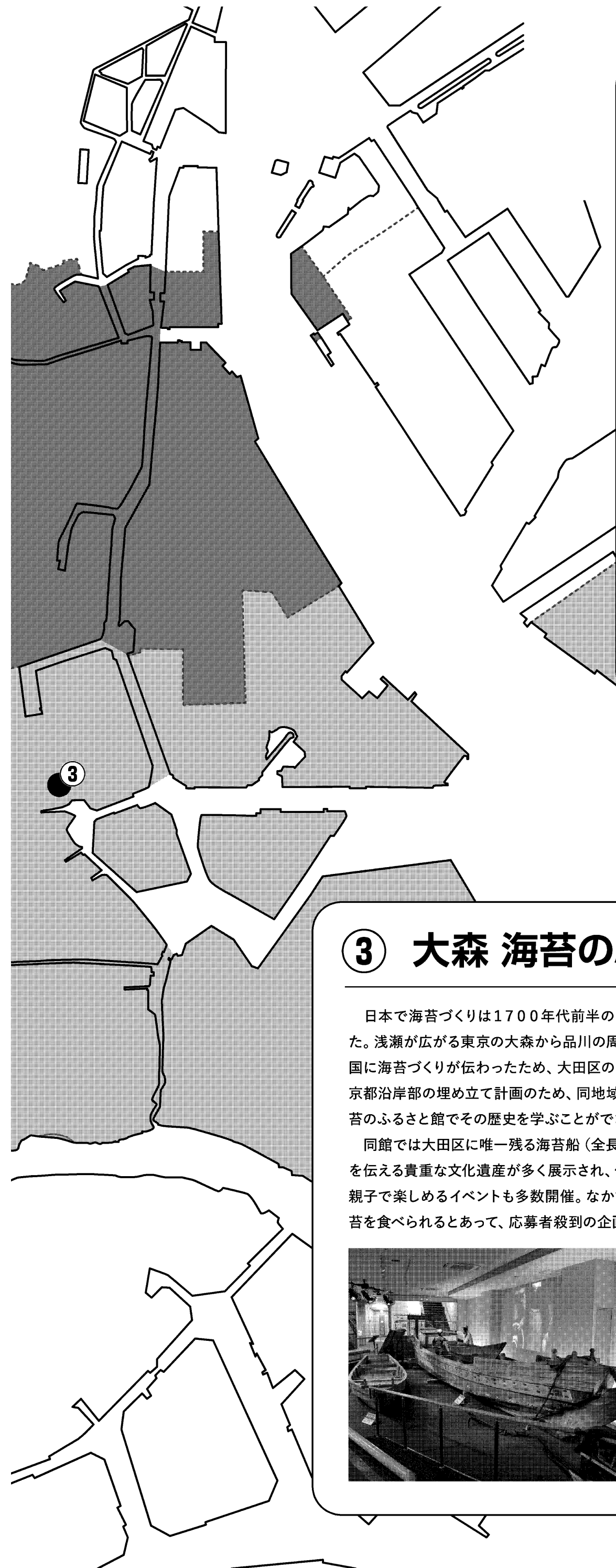
情報通信と画像のプロフェッショナルとして
さまざまな課題と真摯に向き合い
持続可能な社会の実現に貢献しています

池上通信機株式会社 〒146-8567 東京都大田区池上 5-6-16
営業・マーケティング本部 TEL:03-5748-2211
URL:www.ikegami.co.jp/

衣・食・住・生活空間

人々の暮らしまるわかり

ガイド
マップ



① 杉野学園衣裳博物館

杉野服飾大学などを運営する杉野学園はおよそ100年前の1926年に杉野芳子によって設立された。大正時代に杉野芳子は米国で洋裁技術を身につけ、日本での洋装の普及・定着と服飾技術の習得による女性の自立を目指し、同学園を開校した。

衣裳博物館は57年に設立。「西洋」「日本」「民族」「現代」などのカテゴリーで服飾資料を展示している。日本マネキンの歴史的遷移を知ることができる50-70



年代の櫛(こうぞ)製紙製マネキンも収蔵。杉野芳子コレクションも保存する。

同館は杉野学園の服飾教育を支える研究施設としての役割もある。服飾に関する調査や研究、資料の収集・公開を通じ服飾文化の認識と理解を深めることも目的としている。

基本情報

▽所在地=品川区上大崎4の6の1
▽電話=03-6910-4413▽開館=10時-16時▽休館=日曜日、祝日、杉野服飾大学の定める日▽入館=一般300円▽交通=JR、東急、東京メトロなどの「目黒」駅

2025年は昭和元年から数えて100年目の節目の年。品川・大田両区には、昭和の庶民の暮らしを展示している「昭和のくらし博物館」をはじめ、昭和から平成を経て令和の現在まで、人々の暮らしの移り変わりが分かる観光スポットがたくさんある。「衣」「食」「住」に加え、日本人の「生活空間」に溶け込んでいるカメラや香りに関する施設もある。

③ 大森 海苔のふるさと館

日本で海苔づくりは1700年代前半の江戸時代の享保の頃に東京湾で始まった。浅瀬が広がる東京の大森から品川の周辺は一大産地として発展し、ここから全国に海苔づくりが伝わったため、大田区の実地は“海苔のふるさと”といわれる。東京都沿岸部の埋め立て計画のため、同地域では1963年に生産を中止。現在は海苔のふるさと館でその歴史を学ぶことができる。

同館では大田区に唯一残る海苔船(全長13メートル)のほか、当時の海苔づくりを伝える貴重な文化遺産が多く展示され、伝統の手わざを体験できる。年間を通じ親子で楽しめるイベントも多数開催。なかでも「海苔つけ体験」は自分で作った海苔を食べられるとあって、応募者殺到の企画だ。



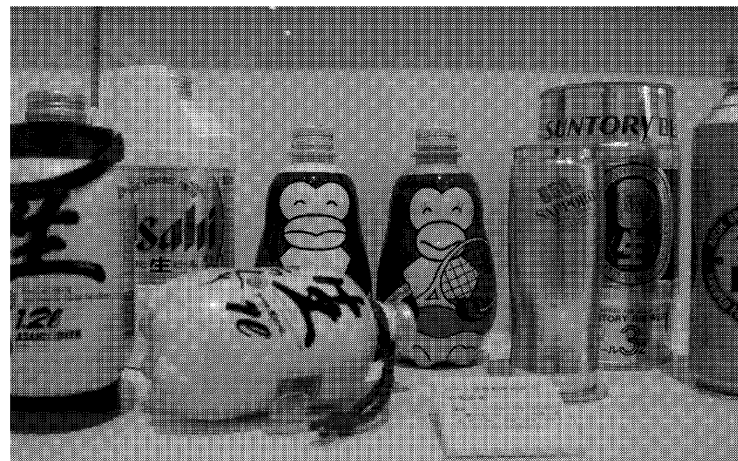
基本情報

▽所在地=大田区平和の森公園2の2▽電話=03-5471-0333▽開館=9時-17時(6月-8月は19時まで)▽休館=第3月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始▽入館=無料▽交通=京急「平和島」駅など

② 容器文化ミュージアム

東洋製缶グループホールディングスが運営する容器文化ミュージアムは、容器の歴史とともに人類が容器を使うことでいかに生活が豊かになったかを学べる施設だ。多種多様な容器を取り上げて紹介し、運搬や保存に便利で中身を守る、中身の情報を的確に伝えるといった包装容器が担ってきた重要な役目をあらためて実感できる。

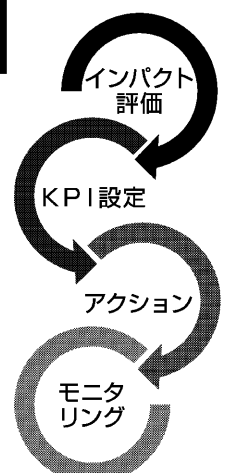
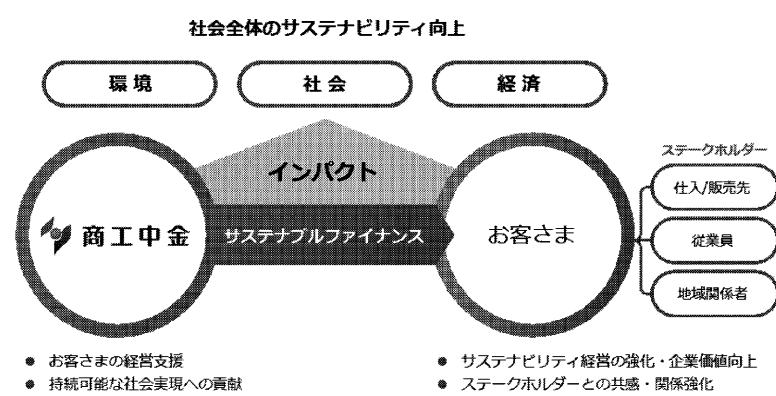
歴史を辿るコーナーでは缶詰の原理を発明したニコラ・アペールをはじめ、70年以上前に広島県尾道市で製造された赤飯の缶詰、戦場で正月を祝うためエビやタイ、きんとんといった正月料理を詰め合わせた「口取缶詰」のレプリカなど目を引く展示が多い。紙、ビン、缶、プラスチックなど素材の変遷とともに環境問題も学べる。



基本情報

▽所在地=品川区東五反田2の18の1▽電話=03-4531-4446▽開館=9時-17時▽休館=土日祝日など▽入館=無料▽交通=JRなどの「大崎」駅または「五反田」駅

ポジティブ・インパクト・ファイナンスの概要



要素①企業活動が環境・社会・経済に対して与えるインパクトやSDGsへの貢献等を包括的に評価・分析。

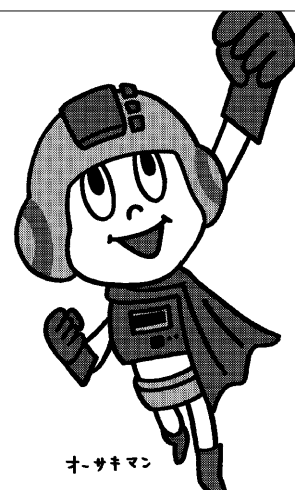
要素②正のインパクトを増大させる、負のインパクトを低減させる取組内容と、その目標(KPI)及び進捗管理方法を設定。①インパクト評価と合わせ、「インパクト評価書」により「可視化」し、HP等で開示。

要素③資金供給とサステナビリティ向上に向けた取組
=環境・経済・社会へのインパクトの創出

要素④定期的にKPIの進捗状況を共有(年次)課題抽出やソリューション提案により、更なる改善に向けた取組をサポート

人を思う。未来を思う。

商工中金



GO with OSAKI

地球の未来を「見える化」解決

計測・制御のリーディングカンパニーとして、電力の「見える化」をさらに推進し、社会に新しい価値を、人々に安心・快適な暮らしを届けます。



大崎電気工業株式会社
<https://www.osaki.co.jp/>



南東京
特集

品川・大田両区

昭和から令和まで

6 昭和のくらし博物館

昭和26年に建てられた住宅が今もひっそりとたたずむ。小泉和子館長の父で建築技師だった小泉孝氏が設計した自宅が登録有形文化財となり、現在は博物館として公開されている。映画やドラマのロケで使われることも多い。

同館では両親と4姉妹の6人が暮らした昭和20〜30年代の姿が再現されている。



玄関に入ればすぐに洋間の書斎があるモダンなスタイルで、その奥には茶の間と台所、座敷、2階には子ども部屋と、懐かしさとともに目新しさも感じられる。

エアコンがない当時は夏はすだれをかけ、冬は火鉢にあたる。四季に応じ生活スタイルを変える庶民の工夫が詰まっている。現在にも通じる暮らしのヒントが見つかるはずだ。

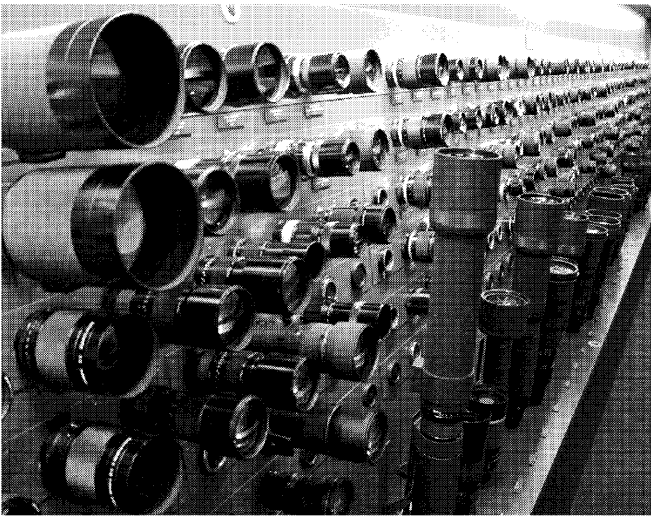
基本情報

▽所在地=大田区南久が原2の26の19▽電話=03-3750-1808▽開館=10時〜17時▽休館=月・木曜日、年末年始など▽入館=大人500円▽交通=東急「下丸子」駅または「久が原」駅

4 ニコンミュージアム

ニコン創立100周年プロジェクトの一環で2015年10月に開館した。ニコンの本社移転に伴い、24年10月にリニューアルしてからもうじき1年となる。ニコンが100年前の1925年に開発したJOICO顕微鏡をはじめ、半導体・FPD露光装置、測量機、望遠鏡、カメラなど「伝統と革新」を象徴する製品と技術をエピソードとともに紹介している。

特に歴代カメラなど約500台をそろえた展示コーナーは圧巻の一言。59年発売の一眼レフカメラ「ニコンF」、40年後の99年に発売したデジタル一眼レフ「ニコンD1」などカメラの歴史を大きく変えた名機が時系列に並んでおり、技術革新の歴史をたどれる。“後学”のためにも一見の価値ありだ。



基本情報

▽所在地=品川区西大井1の5の20▽電話=03-6743-5600▽開館=10時〜17時30分▽休館=月曜日、日曜日、祝日、同館の定める日▽入館=無料▽交通=JR「西大井」駅など

7 五十嵐健治記念洗濯資料館

白洋舎の創業者で日本のドライクリーニング創始者でもある五十嵐健治を記念した資料館。創業者の功績や白洋舎の歩みが分かるだけでなく、実際に使っていたドライクリーニング機械や、ホームクリーニングでも使われていた炭火式アイロンなどを通して、生活の一部に組み込まれている洗濯の歴史が学べる。当時の洗濯の様子を描いた西洋絵画と見比べられるのも特長的だ。

日露戦争後、被服文化が和服から洋服に少しずつ変化。絹や綿主体の着物文化に、羊毛を主体とした軍服や背広が入り込んできていた。ドライクリーニングが国内で発達するきっかけとなった。

2026年に創業120周年を迎えることから同館を26年1月に刷新する予定だ。



基本情報

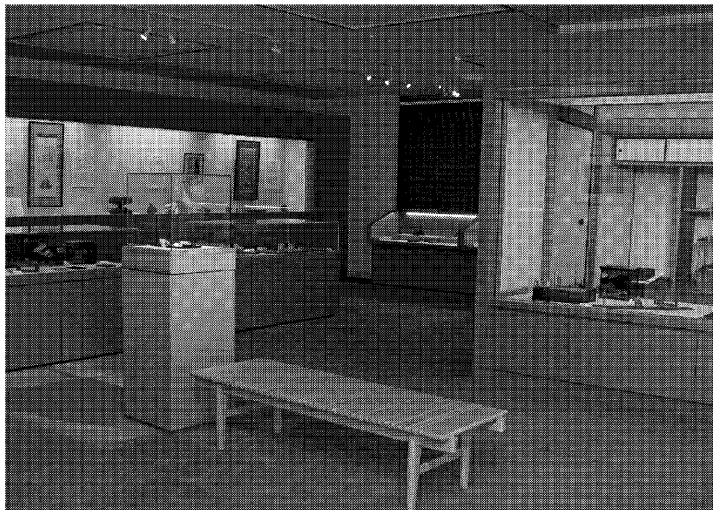
▽所在地=大田区下丸子2の11の8白洋舎本社ビル1階▽電話=03-5732-5111▽開館=10時〜17時▽休館=土日祝日、年末年始、臨時休館日▽入館=無料。受付タブレットから連絡▽交通=東急「下丸子」駅または「武蔵新田」駅

5 高砂コレクションギャラリー

高砂香料工業本社内の受付フロアにあるギャラリー。香りに関する国内外の多様な時代の多彩なコレクション1037点を所蔵し、ごく一部を毎回企画展で紹介している。

およそ100年前の日本は合成香料がようやく作られ始めた時期。輸入に頼っていた天然香料と混合し、香水や石けんなど複雑な香りの素となる調合香料が出始めていた。第2次世界大戦後も欧米製の調合香料に頼っていたが、1970年代に分析機器が発達し、香料の組成の理解とともに調合技術が進み、トイレタリー用品などへの普及が進んだ。

ギャラリーでは日本人にとって「香」の果たした意義を振り返えられる2025年度の企画展「日本の雅—香文化の1400年」を12月12日まで開催中。高砂コレクション所蔵の香道具を展示している。



基本情報

▽所在地=大田区蒲田5の37の1ニッセイアロマスクエア17階▽電話=03-5744-0511▽開館=9時30分〜17時▽休館=土日祝日、年末年始、同社休業日▽入館=無料。大人数の場合は事前予約▽交通=JR「蒲田」駅または京急「京急蒲田」駅など

預けるだけで、ワクワクがついてくる！
年末ジャンボ宝くじ 定期預金
取替期間 2025年7月15日(火)〜9月30日(火)

宝くじ贈呈枚数

お預入金額 500万円

1年間30枚
3年ご継続で
最大 90枚 贈呈

お預入金額 1,000万円

1年間60枚
3年ご継続で
最大 180枚 贈呈

お預入金額: 1口 500万円 または 1,000万円

預入期間: 3年

金利: 新たなご資金……店頭表示金利+年0.1%
※金利は税引前であり、利息には20.315%の税金がかかります
当行預金からのお振替……店頭表示金利

募集金額: 150億円 (内訳: 新たなご資金100億円、当行預金からのお振替50億円)

ご注意事項: 定期預金口座を作成可能な店舗は、お客さまのご自宅または勤務先等の住所の近隣店舗となります。
お振替での作成は、お一人様あたり合計1,000万円までとし、定期預金等の中途解約金ではご利用いただけません。

ホームページはこちら▼

QRコード

《はまぎん》ビジネスコネクト

預金取引明細の確認や各種商品・サービスの申し込みなどをインターネット上で完結できる無料のサービス

いつでも

24h

土・日・祝日も
24時間利用可能！

無料

¥0

基本手数料は
無料！

便利

👉

手続きや照会等が
Web上で
完結できる！

※一部ご利用にならない日・時間帯があります。詳しくは、横浜銀行ウェブサイトをご覧ください。

デジタル通帳サービス

最大10年分の入金取引・出金取引情報を照会・ファイル取得、WEB完結での普通預金通帳の利用停止申込ができます。
※2022年3月20日以降の取引が対象です。

電子交付サービス

横浜銀行からのインボイスを含む各種書類を、インターネット上で閲覧できます。
※対象書類は、横浜銀行ウェブサイトをご覧ください。

横浜銀行 CONCORDIA

詳しくはこちら
《はまぎん》ビジネスコネクト 検索
<https://www.boy.co.jp/hojin/business-connect/>

〈お問い合わせ〉
EB照会デスク

☎0120-890-458
電話受付時間: 銀行窓口営業日の9時〜19時
※携帯電話からもご利用になれます。

詳細は当行ホームページでご確認ください。店頭にも商品説明書をご用意しています。 ☎ 0120-600185 🌐 <https://www.higashi-nipponbank.co.jp/> 東日本銀行